

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



入牧風景

宮城県畜産会
仙台市上杉一丁目2番16号
電話 (62-9180)

月刊 畜産みやぎ
発行所 宮城県畜産会
編集発行人 百井 英一

国産良種入心畜産の発展
畜産改良系図友邦会

会商嵐七社 入畜 畜会

昭和57年5月15日発行

も く じ

- 宮城県における家畜改良増殖計画……………2
- 第1回和牛産肉能力間接検定結果について(1)……………4
- 家畜共済事業の概要について……………5
- 昭和56年度生乳計画生産の実績および
57年度出荷目標について……………7
- 飼料用稲の飼料価値と生産性に及ぼす効果
外国稲ホールクロップサイレージの
泌乳性に及ぼす効果……………8
- 随想……………9
- 和牛のふるさとづくりに励む
宮崎町和牛改良組合……………10

宮城県における家畜改良増殖計画

宮城県畜産課

家畜改良増殖法に基づき、昭和65年を目標とした家畜改良増殖目標が、国において55年12月公表されたので、本県においてもこれに沿って、家畜、家さんの改良増殖目標が専門の家畜委員会において検討され、設定されたのでその要旨をお知らせします。

1 計画期間

昭和56年から昭和65年までの10年間とする。

2 家畜の改良増殖計画

(1) 乳用牛

- 1) 乳質の改善及び泌乳能力の向上と併せて産肉量の増加に努める。
- 2) 発育良く強健で環境適応性が高く、飼料の利用性及び連産性に富み、搾乳性の良いものにする。
- 3) 中躯及び後躯の充実により体積の増大を図り、現状よりやや大型な体格のものにする。
- 4) 乳器は型状及び付着が良く、質の良いものにする。
- 5) 能力及び体型について斉一性の向上に努める。
- 6) 遺伝的能力の改良推進と併せて飼養管理の改善を図ることとし、能力及び体型に関する成熟時の目標数値を次のとおりとする。

品 種	区分	能力(305日2回搾乳)				体 型 値					
		乳量 (成熟時)	乳脂率	無脂固 形成分	分間 泌乳	体高	胸囲	腰角巾	尻長	体 重	
ホルスタイン種	現在	kg 5,900	% 3.5	% 8.3	カ月 13.7	cm 135	cm 194	cm 55.5	cm 54	kg 585	
	目標 (65年)	6,300	3.5	8.5	13.0	137	198	57	55	610	

7) 総頭数は62,300とする。

(2) 肉用牛

本県における肉用牛は全国レベルに比べ、全般に資質においてやや優れており、均称においてもよく揃っているとみとめられるが、発育の早さに

難点がみられ、体積においてもやや劣っている。また、地域により体型、資質の格差等比較的多様化しているため、地域の特徴を保持しながらも標準化を図り仙台牛の銘柄造成を改良の基幹とし、発育が早く、体積に富み、肉質及び繁殖能力の向上に重点をおき系統繁殖による改良に努める。

- 1) 体型については、体幅と体深の増大と後躯の充実重点を置き、体積の増加及び均称の向上を目指すとともに資質の良いものにする。
- 2) 繁殖能力については、早熟で哺育能力及び連産性に富み、産子の斉一性の高いものにする。
- 3) 産肉能力については、発育が早く、飼料の利用性に富み、肉量が多く肉質の良いものにする。
- 4) 能力及び体型について斉一性の向上に努める。
- 5) 強健で粗飼料の利用性及び放牧適性に富むものにする。
- 6) 遺伝的能力の改良推進と併せて飼養管理の改善を図ることとし、体型及び能力に関する目標数値を次のとおりとする。ただし体型は成熟時における種牛の場合とする。

区 分	ア) 体 型				イ) 繁殖能力	
	体高	胸 囲	寛 幅	体 重	初産月齢	分娩間隔
現在	125 ^{cm}	183 ^{cm}	46 ^{cm}	470 ^{kg}	平均26カ月齢	平均14~15カ月
目標 (65年)	128	195	50	530	26カ月齢以内	平均13カ月

注：数値は黒毛和種雌の数値である。

区 分	品 種	性	ウ) 産肉能力		枝肉歩留	ロース芯の 断 面 積
			1日平均 増体重	1kg増体当り TDN		
現在	黒毛和種	去勢	0.78 ^{kg}	7.0 ^{kg}	63 [%]	42 ^{cm²}
目標 (65年)	"	"	0.85	6.7	65	48

注：産肉能力間接検定364日間の数値である。

7) 総頭数は144,000頭とする。(乳用牛40,000頭含む)

(3) 豚

- 1) 品種ごとに群としての能力の斉一性の高いものにする。
- 2) 脂肪が適度で、良質な赤肉を生産するものにする。
- 3) 強健で肢蹄が強く飼養管理が容易なものにする

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ㉟ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018~9

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

る。

- 4) 繁殖豚にあたっては、耐用年数が長く、連産性に富むものにする。
- 5) 体型については発育に応じ体各部の均称のとれたものにする。
- 6) 遺伝的能力の改良推進と併せて、飼養管理の改善を図ることとし、能力に関する目標数値を次のとおりとする。

品 種	繁殖能力		産 肉 能 力					
	育 成 子 豚 頭 数	増 体 重 g/頭	1 日 均 飼 料 g/頭	背 脂 厚 (ロース) mm	大 腿 肉 片 に 対 する ハ ム 厚 さ mm	背 脂 厚 mm	背 脂 厚 mm	
現在 ランドレース	9	39	740	3.5%	70	18	32	2.5
大ヨークシャー	9	37	740	3.5	68	20	33	2.4
ハンブシャー	8	32	720	3.4	66	20	33	2.0
デュロック	8	32	760	3.2	66	20	33	2.4
目標 (65年) ランドレース	10	44	790	3.2%	72	20	33	2.4
大ヨークシャー	10	42	790	3.0	70	21	33	2.2
ハンブシャー	9	36	780	3.1	67	22	33	2.0
デュロック	9	37	800	3.0	67	22	33	2.2

7) 総頭数は 380,000頭とする。

(4) 鶏

1) 卵 用 鶏

- ① 特長ある優良種鶏の改良に努め、これを利用した交配種の組織的な改良と普及を促進する。
- ② 産卵率の向上と卵重量の増加によって、産卵後期に格外卵及び破卵の発生率が高まる傾向にあるので長期間安定して斉一性の高い卵が生産できるよう改良を図る。
- ③ 早熟性の付与と良質卵の生産能力の向上等によって飼料要求率の改良を促進する。
- ④ 疾病に対する遺伝的な強健性の付与に努める。
- ⑤ 鶏卵の消費動向に即した卵重量と優れた卵殻質卵内容の卵を生産するよう改良する。
- ⑥ 遺伝的資質の改良推進と併せて飼養管理の改善を図ることとし、能力に関する目標数値を次のとおりとする。

	産卵個数 (産卵率)	卵重量	初 日 産 卵 日 齢	強 健 性 育 成 率	生 存 率	体 重	飼 料 要 求 率
	現 在	260 個 (73%)	59 ^g ~61	160 日 ~165	95 % ~97	80 % ~85	1,700 ^g ~1,900
目 標 (65年度)	277 (76%)	61	155 ~160	96 以上	90 以上	1,700 ~1,800	2.5 以下

⑦ 総飼養羽数は 4,210,000羽とする。

2) 肉 用 鶏

- ① 産肉、経済性の優れた肉用種鶏を利用した交配種の組織的な改良と普及を積極的に進めることとする。
- ② ブロイラーの大型化に伴い、育成率が低下する傾向にあるので、産肉性の改良とともに強健性の付与を図る。
- ③ 飼育期間の短縮化と併せ飼料の利用性及び腹腔脂肪量についても育種的に改良を図る。
- ④ ブロイラーの産肉性は、母系種鶏の産卵性及び種卵のふ化率と相反する関係にあるため、母系種鶏についてはその増殖性能についても重点をおき改良する。
- ⑤ 肉質については、若齢肉としての品質の向上に努める。
- ⑥ 遺伝的資質の改良推進と併せて飼養管理の改善を図るものとし、ブロイラーの63日齢時における能力に関する目標数値を次のとおりとする。

	体 重	育 成 率	飼 料 要 求 率
現 在	2,300 ^g	95 %	2.4 %
目 標 (65年度)	2,600	98以上	2.2以下

⑦ 総飼養羽数は、2,440,000羽とする。

以上、要点を述べましたが、家畜の改良増殖は畜産振興の基本であり、その効果が発揮されるまでには、長年月を要する上、地道な努力の積み重ねが必要であるので、国、県、関係団体、畜産農家が一体となって組織的、計画的に実施することが肝要であり、関係者の皆さんの御協力と御努力を期待いたします。

(家畜改良係 佐々木)

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517・5511

牧場用柵には
強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株仙台営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053
販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 646221

第一回和牛産肉能力間接 検定結果について(その1)

宮城県岩出山牧場

はじめに

肉用牛集団育種推進事業の一環である産肉能力直接及び間接検定を全国和牛登録協会の検定法に基づき当牧場で実施している。

間接検定は直接検定で合格した候補種雄牛の遺伝的形質(増体量、飼料効率、脂肪交雑、ロース面積、背脂肪等)を調査し、特色のある優れた種雄牛を選抜し、これを基幹種雄牛として、地域の肉用牛の改良を図るものである。

検定条件

1. 1セット(1種雄牛)8頭以上の去勢牛を群飼。
2. 母牛は登録牛で体型、資質とも中以上のもの。
3. 供試牛の日令は検定開始時に於いて、230日~289日の範囲にあるもの。
4. 検定期間は364日間で、濃厚飼料は指定配合でDCP 10.1%TDN 72.3%のものを飽食、切りワラは濃厚の10%を混入、乾草はイネ科一番草を飽食。
5. 屠殺は365日最終給餌後、40時間を経て実施。

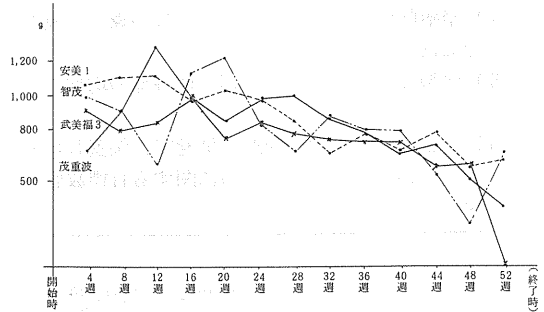
検定結果の概要

第1回目の間接検定は、畜産試験場繋養中の茂重波、武美福3は昭和56年3月3日、安美1、智茂(直検合格)は56年3月10日よりそれぞれ検定を開始し本年3月で終了した。

検定中は2週間ごとに体重測定をしたが、4週ごとにおける一日平均増体量は、表-1のとおりであり各牛とも、28週までは大きい増体がみられたが、44週以降は安美1を除く3頭は0.8kg以下となり、特に武美福3、茂重波については48週以降の増体は極端に減少した。検定中における増体量は、安美1の316.3kg、ついで茂重波285.7kg、智茂278.3kgであまり差はなく、武美福3は一番少なく256.4kg一番大きい安美1との差は約60kgとなった。

飼料要求率(TDN)でも安美1が6.55kgと少ない

表-1 4週ごとにおけるDGの推移



のに対し武美福3は7.23kgと一番多かった。

終了時生体審査では、茂重波は、資質、皮膚被毛良く、腿及び尻部が欠点、武美福3は、皮膚被毛良く、小格及び腿が欠点、安美1は、体積被毛良く、下腿及び肘後が欠点、智茂は、皮膚被毛良く、小格及び腿の欠点のみられた。

生体における各牛1頭当平均成績は表-2のとおりである。

表-2 1頭当り平均成績

種雄牛		茂重波	武美福3	安美1	智茂
項目	開始時体重	191.0 ~259.3	167.0 ~231.3	151.7 ~267.0	175.7 ~248.7
	平均	220.1	202.1	223.5	220.8
終了時体重	範囲	448.3 ~554.7	415.7 ~520.7	457.0 ~594.0	451.0 ~569.0
	平均	505.8	458.6	534.8	499.1
一日平均増体量		0.79	0.71	0.86	0.77
粗飼料摂取量		31	29	27	28
飼料要求率	濃厚	7.26	7.89	7.30	7.66
	粗飼料	3.19	3.19	2.67	3.07
	DCP	0.89	0.95	0.86	0.92
	TDN	6.78	7.23	6.55	7.01
終了時体格得点		79.9	78.7	79.8	79.0

次回(その2)は屠体成績について

(三浦 正行)

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンズ

マイティ
スラリーポンプ
チョッパーポンプ
ノンフロポンプ
ヒドロススリン

65B型

発売元

株式会社 **東北加藤**

〒983 宮城県南光台二丁目22番15号
TEL.0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイイトする

STAR

タフで働きものの

Mr. 3000 牧草梱包
Mr. 2000 稲わら梱包

THB 2000

スター農機株式会社

仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

家畜共済事業の概要について

宮城県農業共済組合連合会

2年続きの冷害と、畜産物需給の不均衡による生産調整、肉価格の低迷、ならびに抗生剤使用規制強化など畜産情勢にとっては一層厳しいものとなっています。

そのなかにあつて、関係者皆様のご指導とご協力を賜わりながら畜産経営の安定と補償の充実を期し、家畜共済事業を推進しており順調に進展しておりますこと厚くお礼申し上げます。

(表-1) 年次別加入頭数及び1頭平均加入額

項目 年度	乳用牛		肉用牛		馬		計		豚	
	加入頭数	1頭平均 千円	加入頭数	1頭平均 千円	加入頭数	1頭平均 千円	加入頭数	1頭平均 千円	種豚	肉豚
51	24,468頭	124千円	48,545頭	152千円	241頭	182千円	73,254頭	143千円	546頭	—頭
52	25,646	134	51,271	169	206	201	77,123	158	609	1,547
53	27,275	145	53,698	185	164	250	81,137	172	3,295	2,457
54	27,589	155	57,283	208	157	279	85,029	191	4,591	2,238
55	26,789	161	61,683	227	141	307	88,613	207	5,728	1,785
56	27,065	164	64,751	247	150	364	91,966	223	6,648	900
前年比	276	3	3,068	20	9	57	3,353	16	920	△885

(表-2) 年次別死亡廃用頭数及び支払共済金

畜種 年度	乳用牛		肉用牛		馬		計			事故率	
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払額
51	856	101,378円	984	116,638円	10	129,900円	1,850	202,849,749円	109,649円	2.53%	1.94%
52	1,031	104,849	1,079	127,789	14	164,786	2,124	253,445,242	119,324	2.75	2.09
53	1,199	117,180	1,298	142,129	18	128,172	2,515	327,290,746	130,135	3.10	2.35
54	1,252	126,897	1,310	142,178	5	134,280	2,567	366,570,114	151,767	3.02	2.26
55	1,281	135,376	1,539	172,405	11	262,499	2,831	441,637,524	156,000	3.19	2.41
56	1,301	142,308	1,546	181,827	11	217,423	2,858	468,639,295	163,974	3.11	2.28
前年比	20	6,932	7	9,422		△45,076	27	27,001,771	7,974	△0.08	△0.13

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

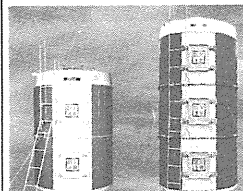
小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198 264151代

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 02292 31888代

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養には非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

OSM-10 10m³
OSM-15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 TEL 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 TEL 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 TEL 3-3355

昭和56年度の死廃病傷事故発生状況は(表2, 表3)のとおりであるが, 死廃事故の病類別にみると, 乳牛では産前(后)起立不能症, 骨折, 脱臼, 関節炎, 第

(表-3) 年次別病傷事故件数及び支払共済金

四胃変位の発生が多く, 肉用牛では肺炎や関節炎が増え, 新しい病気として髄膜炎による斃死事故が目立った。

年度	乳用牛		肉用牛		馬		計			種豚	
	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	支払共済金	1件平均	件数	1件平均
51	25,130	6,136	12,914	4,863	196	5,330	38,240	218,057,120	5,702	101	3,071
52	27,148	6,617	13,580	5,244	190	5,698	40,918	251,962,840	6,157	115	3,311
53	29,020	7,937	15,316	6,469	176	6,852	44,152	330,641,580	7,428	319	4,123
54	30,713	8,013	18,094	6,362	149	7,107	48,956	362,304,870	7,400	1,112	4,128
55	29,779	8,334	21,502	6,458	123	8,330	51,404	388,073,390	7,549	1,541	4,680
56	29,610	9,378	25,075	7,264	154	8,083	54,839	461,104,140	8,408	2,334	5,696
前年比	△169	1,044	3,573	806	31	△247	3,435	73,030,750	859	793	1,016

(表-4) 乳用牛の主な病類別死廃事故頭数

病名	年度	53	54	55	56
産前(后)起立不能症		157	157	168	162
乳房炎		110	126	163	135
骨折, 脱臼		158	129	134	127
関節炎		60	62	61	114
第四胃変位		58	66	66	84
墮脱, 子宮脱		50	42	54	59
心臓衰弱		17	26	26	53
心膜炎		59	48	69	53
鼓脹症		45	59	62	41
肺炎		21	26	28	33
その他		464	511	450	440
計		1,199	1,252	1,281	1,301

(表-5) 肉用牛の主な病類別死廃事故頭数

病名	年度	53	54	55	56
鼓脹症		315	315	352	328
肺炎		275	258	222	261
尿石症		125	114	159	127
骨折, 脱臼		108	111	158	96
胃腸炎, 胃腸カタル		64	57	83	69
心臓衰弱		17	29	58	59
中毒		67	65	73	54
前胃弛緩症		23	22	37	45
脳炎		1	1	13	34
関節炎		8	16	24	30
その他		295	322	360	443
計		1,298	1,310	1,539	1,546

病傷事故では, 肉用牛の繁殖障害, 胃腸疾患が目立って多くなった。

これらの事故に対処するため, 各地域ごとに関係機関の協力を得て設けてある家畜事故対策協議会が中心となり, 地域の実態に即応した指導計画をたて, 事故多発農家の巡回指導など行い事故防止にあたっている。

今後事故の低減をはかるため, 皆様方の尚一層のご指導とご協力をお願いいたします。(家畜課 小野)

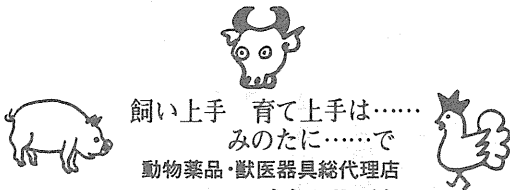
川柳

畜産課 山木 たみ

“耳”

福耳をほめられいつも金が無い。

その耳に誰が囁くイヤリング。



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL093121
山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL494306
仙台店 仙台市大字布目字東通り57~1 TEL240963
鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL240963
いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

さわやかに 健やかに

おいしさいっぱい牛乳で
今日もいきいき

森永ハイグレード牛乳

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目3番27号
電話(02238)4-5181

昭和56年度生乳計画生産の実績 および57年度出荷目標について

宮城県生乳販売農業
協同組合連合会

昭和56年度生乳計画生産の実績

生乳計画生産の実績は、56年度目標143,016トンに対し、本会受託143,319トン(計画対比100.2%)であります。この数量から抑制した全乳哺育乳量558トンを差引くと実績は142,761トンとなり、計画より255トン下回る結果となっております。

又、用途別計画生産の実績でも本会割当113,149トン(前年対比105.48%)に対し113,082トンで67トン下回っており、限度数量24,806トン(前年対比102.75

表-1 昭和56年度用途別計画生産の実績

月	受託乳量	前年比	飲用向け乳量	前年比	加工向け乳量	前年比	その他向け乳量	前年比	哺育向け乳量	前年比
	t	%	t	%	t	%	t	%	t	%
4	12,028	102.0	8,549	109.5	3,286	89.4	172	55.5	21	-
5	12,950	104.5	9,553	103.1	3,213	114.8	161	51.2	23	198.2
6	12,613	107.7	9,841	90.7	2,517	399.6	231	98.9	24	396.1
4~6	37,591	104.7	27,943	100.1	9,016	126.9	564	65.7	68	385.3
7	12,333	103.8	11,412	118.4	682	36.0	206	62.1	33	499.5
8	12,317	107.1	9,259	113.6	2,811	93.8	208	60.8	39	435.9
9	11,652	109.1	10,593	101.9	807	1,245.3	211	100.1	41	439.1
7~9	36,302	106.6	31,264	110.9	4,300	86.7	625	70.7	113	453.9
10	11,794	106.4	10,082	101.5	1,474	181.2	207	64.5	31	208.8
11	11,140	103.4	8,833	103.1	2,008	105.3	265	95.1	34	138.1
12	11,749	103.6	8,962	108.7	2,393	88.4	347	98.5	41	130.7
10~12	34,683	104.5	27,877	104.2	5,875	108.3	819	86.1	112	148.7
1	11,991	104.4	8,219	102.3	3,492	112.5	210	67.1	70	166.9
2	10,803	101.1	9,104	111.9	1,416	63.2	206	78.8	77	155.9
3	11,949	99.4	8,675	105.2	2,879	84.8	277	86.0	118	212.2
1~3	34,743	101.6	25,998	106.5	7,787	89.1	693	77.3	265	180.4
合計	143,319	104.3	113,082	105.4	26,978	102.7	2,701	75.2	558	210.7

%)に対しては2,172トンのオーバーという結果となりました。冷夏や台風などの影響などで迂余曲折があったものの目標内において達成をしております。生産者をはじめ関係者のご協力に深く感謝の意を表します。

昭和57年度生乳計画生産出荷目標について

56年度の計画生産によって生乳需給状況は一応の改善がはかられ所期の目的は達成されつつありますが、長期的にみて複雑な経済環境の中で酪農の安定発展を期するため、今年は過剰解消の計画生産から需要に見合った計画へと方向の修正をしながら引続き実施していくことに2月10日開催の指定生乳生産者団体長会議において決定されております。さて、その中で今年の全国計画生産出荷目標数量は6,572千トン(前年比2.4%増、155.6千トン増、但し本年より出荷数量に変更

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事
さく井工事
ポンプ工事
水処理工事
畜舎工事
設計・施工

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

したため前年度の計画生産目標数量6.517千トンとは連動しない)と設定されました。これに対し、本県は151,837トン(前年比102.67%)であり本会受託販売分は149,645トン(前年計画比102.67%)(表-2)となります。

表-2 昭和57年度会員別計画生産目標

	A 56年度計画生産目標修正	B 57年度計画生産目標 A×1.02236	C 団地等に対する特別加算数量	D 増産量(B+C-A)
蔵王	27,133	27,740		607
宮酪	40,055	40,951		896
経済連	25,678	26,252	626	1,200
仙酪	5,735	5,863		128
県酪	21,593	22,076		483
栗酪	7,903	8,080		177
登酪	6,109	6,246		137
本酪	6,395	6,538		143
遠田	2,415	2,469		54
本会留保分		2,804		2,804
計	143,016	149,019	626	6,629

畜産振興事業団の手持ち乳製品在庫の放出が報じられ生乳過剰の象徴とみられていた乳製品需給の情勢に明るさが出てきている現在、生産者、団体とも着実な安定発展へと向って努力してまいります。各方面の格段のご協力を切にお願い申し上げます。

(滝沢)

◎ 美と健康にしぼりたての

宮城県産牛乳を飲みましょう。

宮城県牛乳普及協会

〈畜試便り〉

飼料用稲の飼料価値と生産性に及ぼす効果＝外国稲ホールクロップサイレージの泌乳性に及ぼす効果＝

西田 茂

はじめに

これは、飼料用稲の牛での飼料価値の究明を目的として実施された一連の試験の一部である。外国稲カロロⅡを乳熟期にホールクロップサイレージに調整したものを、搾乳牛に給与し、他のサイレージ給与時に於ける泌乳性と比較した。

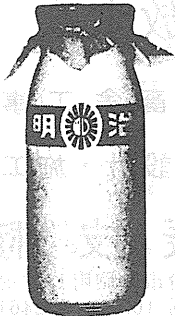
試験方法

外国稲ホールクロップサイレージの効果を、トウモロコシホールクロップサイレージ及び稲科牧草(イタリアン1番刈)サイレージを給与した際の泌乳性(乳量、乳成分)と、採食量について検討した。試験法は3×3ラテン方格法をもちい、泌乳期と個体の効果を除外して飼料間(サイレージ間)の効果について検討できるようにした。試験法を表-1にしめた。

表-1 試験法

期間 牛	1 回	2 回	3 回
A	稲	トウモロコシ	牧草
B	トウモロコシ	牧草	稲
C	牧草	稲	トウモロコシ

供試牛にはホルスタイン種搾乳牛6頭をもちい、2頭を1セットとし、1試験期間を3週間とした。最後の1週間の泌乳成績をもちいて検討した。給与飼料は表-2にしめた。供試したサイレージの成分を表-3にしめた。




いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材



株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田 修 造

本社/仙台市木町通1丁目5番19号
電話/0222633151(大代表)
営業所/古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

表-2 給与飼料

サイレーズ	稲	15.0 kg
"	トウモロコシ	19.0 kg
"	牧草	18.0 kg
配合飼料	F C M乳量	×1/3
ビートパルプ		2.0 kg
ヘイキューブ(アルファルファ)		4.0 kg

表-3 供試サイレーズの成分(原物中%)

原料	項目	熟期	水分	粗蛋白	粗脂肪	可溶性無窒素物	粗繊維	粗灰分	TDN
稲	カロロII	乳熟	58.8	1.4	0.8	17.6	11.9	9.5	19.6
トウモロコシ	糊熟	73.7	0.8	0.7	15.1	6.4	3.4	16.9	
牧草	イタリアン	出穂	71.2	4.0	1.2	9.4	10.3	3.9	17.0

成績

泌乳試験の成績を表-4にしました。サイレーズはほぼ飽食に近い状態で給与したが、摂取日量にせずとおり、トウモロコシは、ほぼ全量採食され、牧草は約30%が残食となり、稲サイレーズは約7%程度が残食された。この結果乾物摂取日量と、TDN摂取日量において、稲は牧草より5%水準で有意に多量に摂取された。また、トウモロコシと比較して、やや少なく摂取される傾向が認められた。稲の効果はDMで+1.00 kg, TDNで+0.07 kgとなった。

表-4 泌乳成績

項目	稲	トウモロコシ	牧草	F 値	
飼料摂取日量 kg					
サイレーズ	14.0	18.5	12.7		
配合飼料	5.0	5.5	5.0		
ヘイキューブ・ビートパルプ	6.0	6.0	6.0		
合計	25.0	30.0	23.7		
乾物摂取日量 kg					
サイレーズ	5.8 a	4.9 a	3.7 b	20.81	**
配合飼料	4.4	4.8	4.3		
ヘイキューブ・ビートパルプ	5.2	5.2	5.2		
合計	15.5 a	14.9 a	13.2 b	10.02	**
TDN 摂取日量 kg					
サイレーズ	2.7 a	3.1 a	2.2 b	18.89	**
配合飼料	3.6	3.9	3.5		
ヘイキューブ・ビートパルプ	3.4	3.4	3.4		
合計	9.6	10.4 a	9.1 b	8.04	**
合計・日本標準比	100.2	105.1 a	94.2 b	6.17	*
乳成分					
脂肪率	3.9	3.9	3.7	0.90	
蛋白質率	3.3	3.3	3.3	0.05	
無脂固形分率	8.7	8.6	8.4	0.90	
乳量					
日産量 kg					
生産量	15.3	16.1	15.4	0.30	
F C M乳量	15.0	15.8	14.8	0.53	
S C M乳量	14.8	15.6	14.4	0.53	

注 1) * p < 0.05 ** p < 0.01
2) a, b は異なる文字間に5%水準で有意差がある。

乳成分にあっては、蛋白質率は給与サイレーズ間に差は認められなかった。脂肪率と無脂固形分率は牧草給与時にやや低くなる傾向が認められた。乳量は、生乳量F C M乳量, S C M乳量でややトウモロコシ給与時に増加する傾向があった。

稲給与時には、乳成分においてトウモロコシ給与時に、乳量において牧草サイレーズ給与時にはほぼ匹敵する泌乳成績を挙げた。

まとめ

搾乳牛6頭によりラテン方格法で、トウモロコシと牧草のサイレーズ給与と、外国稲カロロIIを原料とする乳熟期ホールクロップサイレーズを給与した場合の泌乳成績に及ぼす効果について検討したところ、稲は、トウモロコシと同程度採食され、牧草サイレーズを上回る嗜好性を有していた。

稲は、乳成分にあってはトウモロコシと、乳量にあっては、牧草と同程度の泌乳効果を挙げたが、共に有意の差は認められなかった。

(前研究第一部・乳牛科)

(現研究第二部・養豚科)



畜産合理化会議

「司会者」本日はお忙しいなか各家畜代表の方にご参集をいただきました。

さて、私達家畜は人間という主人に生命を授け、且つ食事を与えられているわけですが、最少限の畜権を認めてもらう必要があると常々考えているわけです。ところが、主人は経営の合理化という美名のもとに常々私達を苦しめ、迫害をする傾向にあります。そこで今日は、各家畜代表の方々に最少限の畜権を認めてもらい、その事が主人側にも利益になるんだと言うことを知ってもらいたいと思います。時間の関係もありますので早速各代表の方に簡単に発言を願います。

「鶏代表」私共鶏は戦後物価の模範生と言われる程なりふりかまわず合理化に協力してきました。狭い金網の中で頭、頸、時には下腹部まで「ストリップ」あられもない姿となって毎日毎日色もなく卵を生み続けてきております。いつかは広い青空のもとで美味しい空気をすいながら生活してみたいものと思っております。

「乳牛代表」私達も常々合理化には協力の立場をとっておりますが、何と言っても悔しいのは人工授精と言う合理化技術です。このことによって私共は生涯の楽しみを取り上げられました。何んでも最近では又授精卵移植とか言われる技術が実用化するそうですが、いったい私達の畜権はどうなるのでしょうか憤慨にたえ

子豚の鉄分, ビタミン補給に

くみあい

テツピタ

(哺乳期子豚用飼料添加物)

農協・宮城県経済連・全農

ません。

「褐和牛代表」私達は同じ肉用牛でありながら「和牛」と大きな差別を受けています。主人達は合理化運動のなかで色々やっておりそれなりの効果をあげているようですが、肉の取引について私達褐牛には大きな不満があります。すみやかな改善を求めます。

「和牛代表」各代表の方の発言はそれぞれもっともな事と思いますが私が特に申し上げたい事は、吾々家畜はそれぞれ生活様式や食事の方法が異なっても最近まで自然の中で自然に生きてきたわけです。夜明けと共に起き、夕日と共に寝ぐらに帰る生活があったわけです。例えて申しますならば、私達の食事は東の空が明るくなってきた時、又夕食は夕日が西の空に沈む前に行かないその間に「オヤツ」を食べる生活を行なって来たのであります。こと左様に私達には私達の長い間の生理なり習性なりがあるのであります。このことを無視しての合理化は決して合理化ではなく、吾々の協力を得られないばかりか経済的にも得にならないという事を申し上げたいのであります。

「司会者」本日はどうもありがとうございました。編集者より豚、羊、馬の各代表からそれぞれ貴重な発言がありましたが枚数の関係で省略しました。(2)

和牛のふるさとづくりに励む 宮崎町和牛改良組合

古川家畜保健衛生所

宮崎町は、県内でも有数の和牛飼育のさかんなところではありますが、特に町内の和牛飼育農家で結成している本組合が中心となり、モダン但馬牛づくりに熱心に取り組んでおり、昨年度の第4回認定和牛改良組合コンクールにおいて、全国の最優秀賞の榮譽によくされたので、その概況を紹介する。

1. 改良組合の歩み

本町の和牛飼育は、40年代中頃から急速な高まりを見せ今日に至っているが、それ以前は和牛の導入、町営牧場(2カ所、120ha)の設置等のほか、和牛改良同志会(38年)を結成し、肉用牛振興の基礎をつくった。

40年代中頃からの和牛飼育の関心の高まりに伴い町の和牛改良方針も但馬系に統一し、今日まで種雄牛(3頭)、但馬産雌牛339頭を導入する等、和牛改良の基礎集団をつくと共に原種牛制度、保留牛制度各種褒賞制度の外、指定交配牛産子の組合員預託による肥育試験、現地検定や地元東北大学の指導による基礎牛の近交係数、予定交配種雄牛の近交係数の増加等も調査する等、資質の優れた牛づくりに努められた。

改良の組織整備については、51年に和牛改良組合に

認定され、実に婦人部(54年)、青年部(56年)の結成による人づくりにも努め、地域をあげて豊かな和牛のふるさとづくりに取り組んでいる。

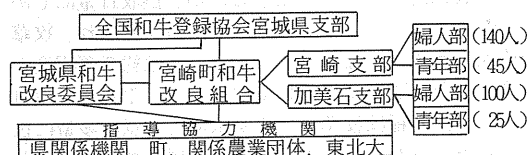
なお、本組合は、昨年12月、改良推進組合を結成し、将来は準育種組合、育種組合に昇格することを目標に努力している。

2. 繁殖和牛の飼養頭数並びに登録頭数

本町の繁殖和牛の飼養頭数は、1,485頭(56年)で、そのうち登録頭数は1,257頭である。資格別では、本原登録60.5%、基本登録35.6%、高等登録3.9%であるが、今後5年間に飼養頭数2,500頭に増頭し、登録においても本原登録80%、高等登録は20%にすることを目標にしている。

3. 改良組合の機構

本組合の機構図は次のとおりである。



4. 改良組合の活動状況

本組合は、牛づくり、人づくり、飼養環境づくりによる豊かな和牛のふるさとづくりを目標としておりますが、その主な活動状況は次のとおりである。

(1) 牛づくり対策

- ① 和牛の台帳整備(全繁殖牛対象)
- ② 基礎牛の選定、検査(純粋兵庫に限定、体型、近交係数、血統等の検査)
- ③ 指定交配(原種牛委員会決定、産子の調査検討)
- ④ 優良産子の保留
- ⑤ 現場検定(指定交配産子の肥育試験、肥育調査)
- ⑥ 現地指導会(市場開催前後の講習会、反省会)
- ⑦ 牛の発育、受胎率等の調査記録、共進会参加等
- ⑧ 多産牛(10産以上)、年間最高販売価格賞、年間5頭以上平均額最高賞、地区平均額最高賞(25頭以上)等の各種褒賞制度の実施

(2) 人づくり対策

- ① リーダーの育成並びに婦人部、青年部の活動強化(研修会、料理講習会、先進地視察、審査競技)
- ② スポーツ、のど自慢大会等の親睦会

(3) 飼養環境づくり

- ① 飼料の自給対策(里山開発、飼料作物増産等)
- ② 機械の共同利用促進
- ③ 疾病予防対策(定期検査並びに畜舎施設の消毒)
- ④ 堆肥の利用促進(無家畜農家と稲わらの交換等)

以上のほか、今後においても規模拡大、無家畜農家の和牛飼育の促進、飼料基盤の整備等も進め、資質の優れた優良肉用牛の生産改良を図ることとしている。

(滝口初五郎)